

No	感染症(PT)	出典	概要
209	チクングニヤウイルス感染	ProMED-mail20070531.1757	2007年5月31日、インドKeralaで約25,000人がチクングニヤの症状で入院していると保健当局は発表した。Kottayam、Pathanamthittaなどの地区では数千人以上が外来治療を受けている。この病気は蚊により拡がるが、南部地方ではここ2〜3週間に蚊が大発生した。食料配給ならびに蚊帳や噴霧器の提供が承認された。
210	チクングニヤウイルス感染	ProMED-mail20071209.3973	米GalvestonのUniv. Texas Medical Branchの研究者らが、インド洋のLa Reunion島における原因不明の疾患の原因を発見したことを発表した。研究者らは、266000例が感染し、少なくとも260例が死亡した流行疾患は、チクングニヤウイルスの単一の突然変異によるものであり、このウイルスは、以前はウイルスを保有していることが知られていなかったAedes albopictusにより伝播されることを証明した。
211	チクングニヤウイルス感染	Public Health Agency of Canada/Infectious Diseases News Brief 2007年10月5日	イタリア北東部でチクングニヤ熱のアウトブレイクが報告された。2007年7月4日-9月14日に確定例101例、疑い例133例がRavenna州で報告された。これはヨーロッパにおいて土着の感染伝播が初めて記録された事例である。
212	チクングニヤウイルス感染	The Hindu News Update Service 2007年5月31日	インドKerala州において約2.5万人がチクングニヤの症状で入院していると保健当局が述べた。熱などの症状がある数千人以上が外来治療を受けている。この病気は蚊によって広まるが、この2、3週間で南部地方では蚊が大発生した。政府は病気に罹った貧しい家族に1週間分の配給をすることを承認した。また蚊帳や噴霧器が供給される。
213	チクングニヤウイルス感染	The Jakarta Post 2007年3月7日	インドネシアのBekasiにおいてチクングニヤが98例診断された。患者数は更に増加すると予想される。健康センターの話では、先月初めの洪水後、疾患は急速に拡大している。
214	チクングニヤウイルス感染	Wkly Epidemiol Rec 2006; 81: 409-416	2006年2月から10月10日に、WHO Regional Office for South-East Asiaはインドの8州/地方の151地域がチクングニヤ熱による影響を受けたと報告した。インドから125万人を超える疑い例が報告された。
215	デング熱	ABC Newsletter 2007年7月20日	オーストラリアのクイーンズランド州北部におけるデング熱アウトブレイクにより、赤十字血液サービスは流行地に滞在した人から供血された血液製剤の廃棄を余儀なくされた。局地的アウトブレイクは3月末にSouth Townsvilleで始まったが、5月14日以降、新規症例は記録されていない。赤十字のスポークスマンによると、供血以前に同地を訪れた供血者由来の赤血球・血小板は破棄するが、血漿は使用できるとのことである。供血制限は、アウトブレイクの終息が正式に宣言されるまで継続される。
216	デング熱	Am J Trop Med Hyg 2007; 76: 1182-1188	2004年8-10月に中国Ningboでデング熱のアウトブレイクが起こり、報告された83例中68例が確定された。2例からデングウイルスセロタイプ-1が分離された。アウトブレイクはタイから戻った旅行者に関係しており、遺伝系統学的分析によりNingbo分離株はタイ由来株に密接に相関していた。無症候性住民における特異的IgGの保有率が流行地域では対照地域に比べ有意に高かった。高密度のヒトスジシマカの発生がウイルスの急速な拡散の原因であった。
217	デング熱	CDC/MMWR 2007; 56(31): 785-789	2005年7月にデング出血熱(DHF)症例1例がTexas州Brownsvilleの住民において報告された。2005年8月に隣接するメキシコTamaulipas州の保健当局はデング熱症例1251例が発生しているデング熱のアウトブレイクを報告し、内223例(17.8%)がDHFであった。臨床的および疫学的調査の結果、同地域でのデング熱アウトブレイクに伴うDHF症例の割合は、2000-2004年はデング熱症例541例中20例(3.7%)であり、増加していることが明らかとなった。
218	デング熱	Channelnewsasia.com 2007年7月30日	ベトナム当局および国営メディアは、今年になってから今までにデング熱により35例が死亡し、他に約33000例が感染したと発表した。2007年1月〜6月のデング熱症例数は、2006年同時期より40.5%増加した。WHOは、今年アジアでは、約1500人が死亡した1998年のデング熱流行と同等の流行が起こる可能性があることを示している。今年になってからインドネシアだけでデング熱により1000人以上が死亡している。
219	デング熱	http://www.allheadline.com/articles/7008061968 (2007年7月31日)	WHOはアジアにおけるデング熱の最悪のアウトブレイクに対して警告した。シンガポール、ベトナム、カンボジアおよび他の東南アジアの国々で何千人もの人々が感染したと報告している。カンボジアでは約25000人が感染し、300人近くの子供が死亡した。この数字は2005年の全症例数の約3倍に当たる。WHOの専門家は、このアウトブレイクが1998年に東南アジアで発生したアウトブレイクに匹敵するおそれがあると危惧している。1998年には約35万例が報告され、内1500例が死亡例であった。